

じんけんの風

2026 Summer | vol. 51
夏号

Halo

Habari

Cháo

Hola

Добрый день

嗨

Hi

안녕

元気?

ちがうって楽しい!

多文化共生社会

外国人の人権

特集

じんけんInterview 柚木崎真美さん	3
みやざき外国人サポートセンターへようこそ!	4
補助犬/ヘルプマークについて	5
じんけんTalk 小島希美さん	6
HIV感染症・エイズ/ハンセン病語り部派遣	7
障がいのある人の芸術文化活動/ 民間団体等との協働による啓発イベント	8
第15回人権が尊重される社会づくり推進賞/ 新着DVD	9
人権・同和問題を正しく理解しよう	10

宮崎県人権啓発センターだより

「人権」とは、人間らしく幸せに生きるための権利。だれにとっても身近で大切なものです。思いやりの心をもって、みんなで「じんけんの風」を吹かせましょう。



宮崎県人権啓発
シンボルマーク

ちがうって楽しい!

多文化共生社会

外国人の人権

職場で、学校で、地域で、日常的に外国人の人と接する機会が増えていきます。一方で、言葉や文化のちがいがから、人権にかかわる問題も起きています。今回は、外国人の人権と多文化共生について一緒にかんがえてみましょう。

観光客 だろかな

目の前に一人の男性がいます。
あなたは何を思いますか?

英語できない、どうしよう

どこの国からきたの?

あなたは何を思いますか?



宮崎に10年
住んでいます

日本語話せます

生まれも育ちも日本です

宮崎県に住む外国人 1万2,981人

増加率 12.8% 全国7位

宮崎県では、日本人が減る一方で外国人が前年比12.8%増えて、1万2,981人を超えとなりました。一番多いのはインドネシア籍の人で3割近くを占め、ベトナム、ミャンマーと続きます。在留資格では「技能実習」が一番多くなっています。

参照: 出入国在留管理庁「令和7年現在における在留外国人数について」

クイズ

どっちde SHOW

また分別せずに
出してる!

ちいさな地域で



知らなかった
だけなのね



イラストで伝えたり、外国語の分別パンフレットがないか行政に聞いてみましょう。



日本語
わからないんだから、
これだけやっつけば
いいんだよ!

職場で



はい、
やりたいです!

次はこの作業を
おぼえてみますか?

単なる労働力として扱うのではなく、同じ職場の仲間として向き合うことが大切です。

学校で

へんなお弁当、
それ食べられんの?



それなんて料理?
作り方教えて



私も日本料理
おぼえたい!

食事はその国の文化。お互いの文化を尊重し、ちがいを理解しましょう。

思い込みや偏見の入った“くもったレンズ”をかけていませんか?
明るくクリアな目で接してみましょう。それが正解です!

知ってる?

やさしい日本語

阪神・淡路大震災では日本語を理解できない外国人の多くが被害にあいました。そこで生まれたのが「やさしい日本語」。普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した「優しい・易しい」日本語のことです。一文を短く、簡単な言葉に言い換え、あいまいな表現はせず、ゆっくりはっきり話すのがポイントです。

参照：やさしい日本語ツーリズム協会HP

ハサミの法則

はっきり言う
さいごまで言う
みじかく言う

土足厳禁

クツをぬいでください

参加費は無料です

参加するときお金はいりません

館内での飲食は
ご遠慮ください

ここで食べたり飲んだり
しないでください



あなたなら
どう言いかえますか?

津波警報が出ています。高台に避難してください



こたえ例：つなみがきます。すぐにたかいところににげてください。

あいさつをする

はじめよう!

翻訳アプリを
使ってみる

「やさしい日本語」で
話しかける

わたしにできること

国際交流イベントに
参加する

地域のお祭りに
外国人を招く

もし逆の立場だったら…
とかがえてみる

世界の文化や習慣に
関心をもつ

イラストや写真で
伝えてみる



あなたにできることはなんですか?

みんなで多文化共生社会を実現しよう

外国人も、ともに暮らす仲間です。多文化との出会いは、新しい学びや豊かな価値観をもたらしてくれます。言葉や文化、生活習慣など、お互いの違いを認め合い、尊重し、みんなが心豊かに暮らせる社会を作っていきます。

Voice

相手に興味を持つことがコミュニケーションの始まり

株式会社凌駕 レントオール宮崎

2017年から外国人技能実習生を受け入れ、現在、ベトナム出身の3名が働く同社。「受け入れにあたって寮や日本語の家庭教師を手配しました。最初は言葉の壁を感じていたようですが、今では貴重な戦力となっています」と社長の長嶺光秀さん。「受け入れにあたっては、“日本の父”になる覚悟で臨みました。彼らの母国料理のお店に連れて行ったり、逆に彼らの寮に招かれて手料理を囲むこともあります」。技能実習生の声：皆さんとのコミュニケーションが楽しいです。宮崎はチキン南蛮が大好き。もっと仕事をがんばっていききたい!



相談窓口

みやざき 外国人サポートセンター
TEL.0985-41-5901

(公財)宮崎県国際交流協会
TEL.0985-32-8457



二つのルーツを生かして 多文化共生の架け橋に

ゆ き ざ き ま み
柚木崎真美さん

タンザニア生まれで宮崎育ち。宮崎市内でアフリカ雑貨店を営みながら、国際交流活動にも積極的に取り組む柚木崎真美さんに、多文化共生についてお聞きしました。

宮崎弁にカルチャーショック!?

母がアフリカのタンザニア出身で父は宮崎市出身。タンザニアはすごく暑い国ですが、海も山もあって、人柄が穏やかなところは宮崎とよく似ています。5歳で来日して7歳で宮崎に来たのですが、「宮崎弁」は大きなカルチャーショックでした（笑）。標準語しか知らなかったの、宮崎の祖父母に会ったときは「同じ日本語なのに、こんなに違うの!？」とびっくりしました。小学校2年生で地元の学校に転入したのですが、当時はまだ日本語が上手ではなかったの、いじめの対象になることもあって。子どもながらに言葉をしっかり習得しなきゃいけないと必死にがんばりました。

日本語特有の「空気を読む」文化には苦労しましたね。相手の反応がYESなのかNOなのかわからなくて。また、悪意のない無意識の先入観にモヤモヤすることもありました。初めて会う方からはやっぱり「外国人」という枠組みで見られることが多く、「日本語がお上手ですね」と声をかけられたり。でも今では、私と出会ったことが相手にとって異なる国や文化を知るきっかけになればいいなとポジティブに捉えています。私自身は、どんな人も枠組みで捉えず一人の「人」として向き合おうと心がけています。その人自身をしっかりと見ること、相手に興味を持つことが、上手なコミュニケーションのコツかなと思っています。

地球人、宮崎人としてのアイデンティティ

一番悩んだのは22歳のときです。法律上、どちらかの国籍を選ばないといけなくて。最終的に日本を選んだのですが、大好きなタンザニアの人たちが知ったら悲しむかなとすごく葛藤しました。でも今は、国籍にはあまりこだわりはありません。二つの文化が融合された地球人、いや宮崎人かなという感覚ですね（笑）。

せっかく二つのルーツを持っているので、それを生かしてアフリカと日本の架け橋になりたいです。

母は小中学校などで国際交流活動をしていて、私も昨年から講師として子どもたちとふれあうようになりました。最初は何も知らない子どもたちが、アフリカの動物の写真を楽しんできれたり、教えた現地語の挨拶をさっそく使ってくれたりすると、本当にうれしいですね。偏見や思い込みは相手を知らないことから生まれると思うので、こうして新しい文化にふれて興味を持ってもらえる役割にはやりがいを感じています。

夢は言語を通じて人と人を繋ぐこと

今年の2月に日本語教師養成講座を卒業して、さらに国家資格（登録日本語教師）取得に向けて勉強を続けています。私自身、日本語コンプレックスで苦しんできたので、同じように悩む外国の方やハーフの人たちのサポートがしたいと思っています。まずは県内で日本語教室を開くことが一番近い目標で、いつかはアフリカで日本語に興味のある人たちにも教えたいです。言語というツールを通してお互いの理解を深めるお手伝いができたらうれしいし、国際交流や多文化共生につながる活動をもっと広めていきたいです。

ワタシを元気にするコトバ

ハクナ・マタタ (Hakuna matata)

スワヒリ語で「心配ないよ」「問題ないよ」という意味です。ディズニー映画『ライオン・キング』でも有名になりましたね。この言葉を聞いたり、口にすると、前向きにがんばろうという気持ちになれます。

みやざき外国人 サポートセンターへ ようこそ！



みやざき外国人サポートセンター（通称「サポセン」）では、宮崎県内で暮らす外国人からの相談を受け付けています。

外国人のみなさんが安心して生活できるよう、日々がんばっているサポセン相談員のお二人に、お話を聞きました！

Q サポセンには、
どんな相談が寄せられていますか？

A 日本語の勉強がしたいという相談や、妊娠・出産に関する相談、子どもの進学に関する相談、通訳・翻訳についての相談など、様々です。外国人だけではなく、日本人からの相談もあります。



Q 日本語を話すことができない外国人から相談があった場合は、
どのように対応されていますか？

A 日本語が話せなくても電話通訳を使って24の言語に対応していますので、安心して相談してください！

また、ベトナム語・インドネシア語・タガログ語・ポルトガル語・英語・中国語・韓国語については、各言語を母語として話す生活相談員が対応する相談会を開催していますので、ホームページをご覧ください。

このほか、外国人が日常生活を送る上で役立つ情報をハンドブックにまとめ、多言語でホームページに載せていますので、ぜひご活用ください。



Q 宮崎県は広いので、相談したくてもサポセンが遠くて来ることができない外国人もたくさんいらっしゃると思うのですが……

A サポセンに来ることが難しい場合は、電話やメール、オンライン相談（Zoom）をご活用ください！
Zoomで相談したい場合は、事前にメールでお申し込みください。



オンライン相談（Zoom）の申込方法については、二次元コードからご覧ください！



Q 最後に、外国人の皆さんや、外国人を支援している皆さんへひとことお願いします！

A 「暮らしやすい宮崎」を目指して、相談者のみなさんの疑問や悩みに寄り添った対応を心がけています。
どうぞお気軽にご利用ください。

みやざき外国人サポートセンター 無料で相談できます 秘密は守ります

営業時間：火曜日～土曜日 午前10時～午後7時 ※祝日と12/29～1/3は休み

TEL:0985-41-5901 FAX:0985-41-5902

E-mail:support@mif.or.jp 場所：〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎 地下1階



大切なパートナー 補助犬

補助犬は、目や耳、手足に障がいのある人をサポートする「盲導犬」、「聴導犬」、「介助犬」のことです。
日常生活をサポートする補助犬は大切なパートナーです。

盲導犬

見えない、見えにくい人が安全に歩けるように障害物を避けたり、段差や曲がり角を教えたりするなどしてサポートします。



介助犬

手や足に障がいのある人の日常生活における動作をサポートします。
指示した物を持ってくる、衣服の脱衣の補助等を行います。



聴導犬

聞こえない、聞こえにくい人に玄関のチャイムの音や赤ちゃんの泣き声、警報器の音等、生活に必要な音を聞き分けて教えます。



補助犬を見かけたら

- 食べ物を与えないようにしましょう
- 見つめたり、触ったりしないようにしましょう
- 話しかけないようにしましょう

補助犬同伴の受け入れにご理解をお願いします

「身体障害者補助犬法」では、公共施設や公共交通機関、不特定多数の人が出入りする民間施設などに、補助犬同伴の受け入れを義務付けています。

補助犬は障がいのある人の自立や社会参加をサポートする大切なパートナーです。補助犬の役割について理解し、補助犬の同伴を温かく受け入れてください。

厚生労働省では、身体障害者補助犬法の理解促進を目的に「ほじょ犬ステッカー」や「身体障害者補助犬リーフレット」等を作成しています。ぜひご活用ください。



ほじょ犬マーク

お問合せ | 宮崎県福祉保健部障がい福祉課 TEL.0985-32-4468

ヘルプマークを知っていますか？

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいのある方や難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。県では、こうした援助や配慮を必要とする方々に、ヘルプマークを配布し、より援助が得やすくなるよう普及に取り組んでいます。

ヘルプマークをつけている方を見かけたら

電車やバスの中

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続ける等同じ体勢が難しい方がいます。そういった方には席をお譲りください。

駅や商業施設

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して、臨機応変に対応することが困難な方や、立ちあがる・歩く・階段の昇降などの動作が困難な方がいます。声をかける等の配慮をお願いします。

災害時

視覚障がい者や聴覚障がい者等の状況把握が難しい方、肢体不自由者等の自力での迅速な避難が困難な方がいます。安全に避難するための支援をお願いします。



このマークを見かけた際は、援助や配慮等、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプカード

ヘルプマークと併せてお使いいただける、「ヘルプカード」も配布しています。このカードは、障がいのある方や高齢の方などが、周囲の方に配慮や手助けをお願いしやすくなるためのカードであり、必要な支援情報や緊急連絡先等を記載できます。県ホームページからダウンロードの上、作成が可能です。



交付手続

ヘルプマークは以下の窓口で申請を受けて交付しています。

交付

- 県障がい福祉課
- 市町村障がい福祉主管課

※ヘルプカードも交付可能です

交付手続の詳細は、県ホームページに記載しています。右記2次元バーコードからご覧ください。



お問合せ | 宮崎県福祉保健部障がい福祉課 TEL.0985-32-4468

誰もが輝く ウェルビーイングな 職場づくり

(株)シースリーフュージョン 代表取締役 小島希美さん

宮崎県人権啓発推進協議会第46回総会(2026年5月20日)にて、「心理的安全性が組織を変える～ウェルビーイングな職場づくりのために～」のテーマで行われた講演の要旨をお届けします。



私たちのDNAに刻まれた 「ウェルビーイング」の精神

宮崎といえば神話の国ですが、私が日本独自の文化で素晴らしいと思うのは「やおよろずのかみ八百萬神」という考え方です。仏教にも「さんぜん そうもく しつ かいじょうぶつ三山草木悉皆成仏」という同様の言葉があり、すべての存在に神・仏が宿り、価値があるという考え方です。また、聖徳太子が定めた「和をもって尊しとなす」の「和」とは、単に同調することではなく「和らぎ、協力する」という意味です。私たちのDNAには、誰かを排除するのではなく、お互いの違いを受け入れて共に幸せに生きる「ウェルビーイング」の精神がもともと刻み込まれているのです。会社組織でも同じです。太陽のように引っ張る人もいれば、縁の下の力持ちもいる、いなくていい人など誰一人いません。

人を大切にする 「心理的安全性」と「DEI」

現代の日本は、長時間労働やハラスメント、介護や病気を抱えながら働く人の増加など、多くの課題に直面しています。こうしたなかで国が推進しているのが、人を資本として大切にする「人的資本経営」であり、心身ともに満たされた「ウェルビーイング」という考え方です。その土台となるのが「心理的安全性」。失敗や懸念を罰せられる不安がなく、本音を言える環境のことです。心理的安全性がない職場では、現場の違和感やミスが隠蔽され、事故など人の命に関わる重大な事態を招くことにも繋がりがかねません。

「DEI」も重要なキーワードです。「多様性(ダイバーシティ)」を考えると重要なのは、年齢や性別など目に見える属性に加え、育児・介護・病気の治療といった目に見えない背景にどれだけ配慮できるかです。多様性を生かすには「公平性(エクイティ)」と「包摂性

(インクルージョン)」の視点が欠かせません。全員に同じものを配る平等ではなく、誰かのハンデに周囲が気づき必要なサポートを分け合うのが公平性です。また、単に多様な人を雇うだけで終わらせず、仲間として共に役割を担う状態を作るのが包摂性です。相手の立場に立ち、その苦しみや状況を本気で理解しようとする共感の心があってこそ、本当の意味で多様な人材が輝く職場が生まれます。

「ありがたい姿」へ、 あなたから始める一歩

ハラスメントが起きる職場は、ルールでがんじがらめにする守りの組織になりがちです。しかし「〇〇してはならない」という禁止事項ばかりでは、人は思考停止に陥ります。これからは、「挨拶を無視しない」ではなく「挨拶を丁寧に行う」というように、否定語を肯定語に変え、ポジティブな「ありがたい姿」を皆で共有する攻めの組織に変えていきましょう。

最澄の言葉に「いっとうしょうぐう ばんとうしょうこく一燈照隅、万燈照国」という言葉があります。一人ひとりが自分のいる場所を照らせば、その灯火が集まって組織全体が明るくなります。心理的安全性のある職場を創るのは、他の誰でもなくあなた自身です。「ありがとう」の言葉を伝えること、誰かの話を聞くことなど、小さな一歩をまずは自分から始めてみてください。争いではなく共感で繋がる、そんな人間関係をぜひ築いていただきたいなと思います。

こじま・のぞみ

社会保険労務士／健康経営エキスパートアドバイザー／産業カウンセラー／俳優

企業の心理的安全性と健康経営を基盤とした働き方改革の支援、社員一人ひとりが心身ともに健やかに力を発揮できる職場環境整備などに取り組む。人事コンサルタントとして活動する傍ら、社会課題を題材にした映画のプロデューサー・俳優としても活動。

著書に『幕間は孤独と対話する時間、そして自分軸で生きるきっかけをくれる』(みらいパブリッシング)

HIV感染症・エイズについて

HIV感染症・エイズは、以前は「不治の病」のように言われていましたが、きちんと内服を継続すれば病気をコントロールしながら、感染していない人と同じように長く健康的に生活できるようになりました。

しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、そのことがHIV感染を心配する人たちを検査や治療から遠ざけ、また、差別や偏見を招く要因の一つになっているとも言われています。

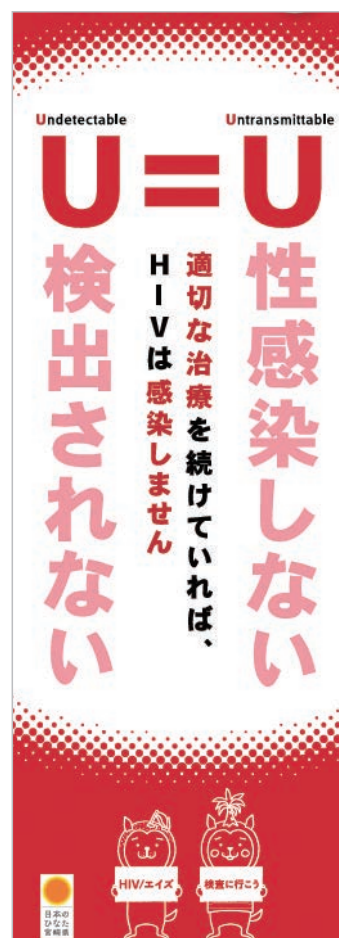
そのため、ひとりでも多くの方が、HIVとエイズに関する検査や治療、支援などの最新の知識を身につけ、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていくことが大切であると考えています。

HIV感染の初期症状としてあげられるものは、他の病気の時にも多く出る症状のため、症状から感染を判断することはできません。

そのため、早期発見・早期治療のためにも検査はとても大切です。

宮崎県の各保健所では匿名・無料でHIV検査や相談ができますので、ぜひご利用ください。

相談窓口  **お近くの保健所へ**
所管課 **薬務感染症対策課**



「ハンセン病語り部派遣事業」のご案内

宮崎県では、県民の皆様に、ハンセン病問題について正しい知識を持ち、理解を深めていただくため、国立療養所星塚敬愛園のご協力をいただき「ハンセン病語り部派遣事業」を実施しています。

この事業は、療養所に在園しているハンセン病元患者

の方等に、学校や各種団体において、ハンセン病の歴史や正しい知識について講演をしていただくものです。

県が窓口となって、講師派遣の手続きや日程の調整、講演にかかる費用の補助などを行っていますので、人権教育や講演の場において、ぜひご活用ください。

講師 国立療養所星塚敬愛園（鹿児島県鹿屋市）在園者・学芸員

講師謝礼 不要

派遣対象 学校や各種団体が企画するハンセン病講演会

送迎 不要

お問合せ

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当
TEL.0985-26-7079 FAX.0985-26-7336

障がいのある人の 芸術文化活動をサポートします!

「宮崎県障がい者芸術文化支援センター」では、共に「知りあう、ふれあう、学びあう」をテーマに、県内の障がいのある人の芸術活動のサポートをしています。

● 宮崎県障がい者芸術文化支援センターの主な活動

相談支援

「作品を発表したい」障がいのある人、「芸術活動を取り入れたい」支援員、「情報を知りたい」家族の人などの相談を受け、専門機関へつなぐ中間支援を行います。

人材育成

芸術活動のサポート研修会、展示や額装を学ぶ勉強会、視覚に障がいのある人を行う対話型鑑賞会、アートに関する権利を学ぶセミナーなどを開催し、障がいのある人の芸術活動に関心や興味のある人の育成を行っています。

発表の 機会の創出

県内の文化施設や街中における作品展やワークショップ、誰でも参加できるオープン! アトリエを定期的で開催し、地域の人と触れあう機会もつくります。



対話型鑑賞会



身体表現ワークショップ

お気軽にご相談ください!



宮崎県障がい者芸術文化支援センター(アートステーションどんこや内)

〒880-2104 宮崎市大字浮田3153-1

TEL. 0985-27-2823 FAX.0985-89-6000

Email donkoya@jl.moo.jp



HP



note



Facebook



Instagram

民間団体等との協働による啓発イベントのご案内

不登校児童生徒への支援の在り方・ 理解啓発についてのシンポジウム

子どもたちの学びを保障できるよう、関係者と共に支援の在り方を考え、子どもの学ぶ権利・人権を守る理解啓発を図ります。

実施団体 チーム「なないろ」

開催日時 10/3(土)

開催場所 南九州大学
都城キャンパス

「映画『君の笑顔に会いたくて』 命と向き合う保護司の物語」上映会

保護司は、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことがないよう、その立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。

法務大臣からの委嘱を受け、全国で約4万7000人が保護司として活動しています。保護司についての理解を一緒に深めてみませんか。

実施団体 m20

開催日時 11/28(土) 14:00~16:00
11/29(日) 10:00~12:00

開催場所 11/28(土) | 三股町文化会館
11/29(日) | 宮崎公立大学

宮崎県人権同和対策課

※内容・開催日時・開催場所は変更される場合があります。申込方法等については宮崎県人権ホームページをご覧ください。

第15回 人権が尊重される社会づくり推進賞 SIESTA(シエスタ)



都城市を拠点に、南九州3県で活動する同団体が、第15回人権が尊重される社会づくり推進賞を受賞しました。会長・元野広慈さんの受賞挨拶要旨を紹介します。

2000年から25年もの間、南九州3県を範囲として、生きる権利や性が起因するさまざまな問題(人権・男女共同参画に関わる活動)に取り組んできました。団体を設立する前、私は、性が起因する問題で悩み苦しんでいる人らと数多く接する度に、誰かが声なき声を届けてくれないかと期待しましたが、何年経っても誰もやらない。だったら自分が声を上げていこうと思い、同志とともに始めました。設立当初は、奇異な目で見られ、周囲から怪しまれたり、すぐ潰れるだろうと笑われたことを昨日のように思い出します。

こどもから高齢者までオールジャンル、24時間365日、25年間で1万6000件を超える相談援助に応じてきました。DVや性被害、自殺、生活困窮、性的マイノリティ(LGBTQ)ほか、日々あらゆる問題と向き合っています。人員不足に悩みながらも、本日このように素晴らしい賞をいただきましたのは、皆さまのお力添えがあったからです。心から感謝申し上げます。今後ともご指導等賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新着DVD

宮崎県人権啓発センターではDVDや図書の貸出を行っています



みらいロボット ミニーとハットのはなまるクイズ

未来のロボット「ミニーとハット」が登場し、楽しいクイズ形式で科学やテクノロジーに関する知識を深め、未来への興味や探究心を育むアニメーション作品です。

上映時間:13分(子ども向け)



「無自覚」に気づく！ ～誰もが当事者職場のハラスメント～

本作は、近年多発している事例を取り上げ、年齢・性別・立場もさまざまな人物を描くことで、自身の日頃の言動を顧みることを促すドラマ教材です。

上映時間:25分(職場向け)



君の景色を知ったとき

障がいのある人や外国人、子どもや老年寄りなど、多くの人にとっての「当たり前」に不便を感じる人がいると気付くこと、そしてそれを人の力で支え合うことの大切さを描いたドラマです。

上映時間:30分(一般向け)

人権・同和問題を 正しく理解しよう

1. 同和問題とは

同和地区や被差別部落などと呼ばれる地域の出身であることやそこに住んでいるというだけで、様々な差別を受けることがあります。同和問題は、日本固有の人権問題であり、重大な社会問題です。

2. どのような同和問題があるのか

結婚差別

出身地を理由に結婚や交際に反対したり、婚約中にこっそりと身元調査を行う。

就職差別

採用選考にあたり、同和地区出身かどうかを調べる。

差別表現

インターネットを利用して差別的な情報を掲載する。差別的な落書きを書いたり、貼り紙を貼ったりする。

3. えせ同和行為

いかにも同和問題の解決に尽力しているかのように装って、不当な寄付を募ったり、高額な書籍を売り付けたりする行為です。

4. 正しい同和問題の理解を

同和問題をめぐっては、「寝た子を起こすな論」という考え方が根強く私たちの周りにあります。

何もせずにそっとしておいては、今もある差別を放置し、温存することになります。それは、1871(明治4)年に「解放令」が出されてから155年以上が経過して今日でも、同和問題に関する差別が解消されていないことからわかります。

また、同和問題に関する正しい知識を持っておかないと、同和問題に関する差別意識や偏見があったときや、インターネット上やSNS上の情報に接したときに、そのまま受け入れてしまったり、間違った知識を周囲に語り継いでいくことになりかねません。

私たちは差別や偏見を引き継ぐのではなく、同和問題についての正しい理解を引き継いでいく必要があります。



出典元：「人権・同和問題の正しい理解のために」（宮崎県人権同和对策課）

「人権ポケットブック3 なくそう！部落差別（同和問題）」（公益財団法人人権教育啓発推進センター）

宮崎県人権啓発センターのご案内

8月は「人権啓発強調月間」です。

この機会に人権意識をアップデートしてみませんか？

宮崎県人権啓発センターでは、企業での研修や学校での授業などに役立つDVD・図書の無料貸出を行っています。

DVDや図書の選定について、専門の職員が相談に応じます。まずは一度お越しください！



コミックコーナー

大人気コミック「ゴールデンカムイ」も全巻揃っています！



DVDコーナー

人権に関するDVDを多数取り揃えています！



勉強スペース

調べ学習などにご利用ください。

令和8(2026)年度 県民人権講座のご案内

受講料：**無料**(要申込) 定員：**各70名**(定員になり次第終了)

第3回 **8/19**(水) 13:30～16:00 (受付13:00～)

「部落差別と『出会う』

～マイノリティ当事者のみる世界から～

講師：澤井未緩氏(関西大学人権問題研究室 非常勤研究員)

会場 延岡市カルチャープラザ多目的ホール

第4回 **10/16**(金) 13:30～15:10 (受付13:00～)

「『ふつう』ってなんだろう？

～多様な性と人権について、弁護士と一緒に考えてみませんか～

講師：塚本祥雄氏(弁護士法人 松田共同法律事務所)

会場 串間市中央公民館 研修室

第5回 **11/28**(土) 10:00～12:00 (受付9:30～) 予定

「DVから考える人権」

講師：信田さよ子氏(公益社団法人 日本公認心理師協会 会長)

会場 宮崎県 県電ホール

第6回 **12/5**(土)

「クロストーク」(司会:MRTアナウンサー)

会場 みやざきアートセンター太陽の広場

人権フェスタと同日開催！

詳細は人権ホームページでお知らせします。

【お申込み・お問合せ先】 宮崎県人権同和对策課 啓発・研修担当

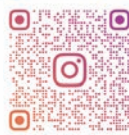
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号 TEL.0985-32-4469 メール:jinkendowataisaku@pref.miyazaki.lg.jp



詳細は宮崎県人権ホームページや
Instagramをチェック！



人権ホームページ



Instagram

宮崎県人権啓発センター

(宮崎県人権同和对策課内)

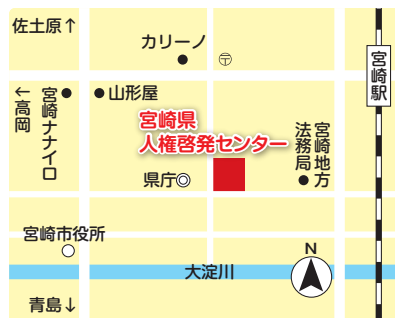
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号

県庁8号館6階(1階に物産館がある建物です)

電話 0985-32-4469

FAX 0985-32-4454

メール jinkendowataisaku@pref.miyazaki.lg.jp



下記QRコードより
アンケートにご協力ください！

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名の方に、人権啓発グッズを進呈いたします。

締切 10/31

